

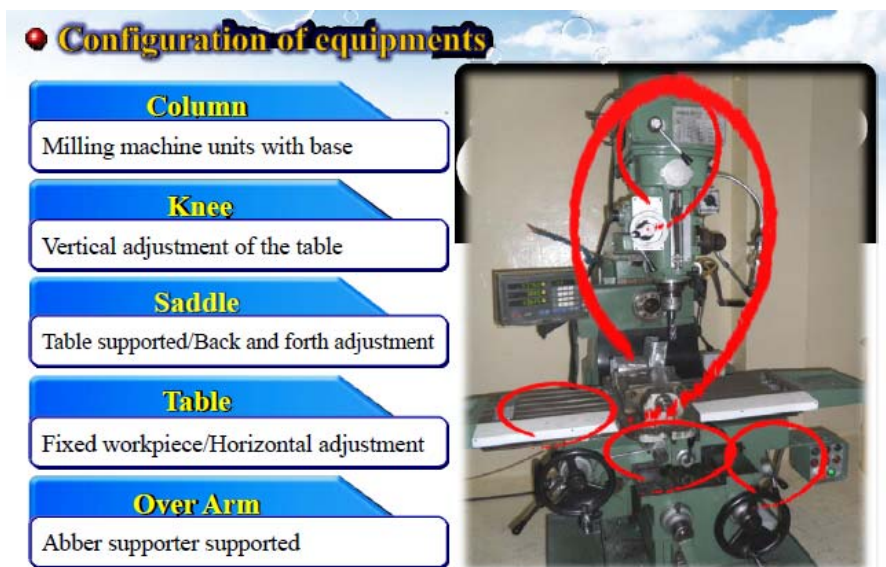
「工作機械を用いた放射性金属廃棄物の除染」

Dae-Seong Jang, Sunkwang Atomic Energy Safety Co., Ltd. (韓国)

手工具による研削には、作業時間の長さ、付着による作業プロセスの遅れ、大量金属の長時間処理に不適、金属表面研削用機械装置の欠如、低効率・高危険といった幾つかの問題がある。

既存方法の限界に打ち勝ち、作業環境を改善し、作業時間を低減し、コストを低減して効率化を図るための技術開発を行うというニーズがある。

放射性金属廃棄物を研削・研磨するために開発された工作機械を、下図に示す。



その結果、次のような結論が得られている。

- ・ドラム缶の発生量が減少した。
- ・効率及び環境が改善された。
- ・放射性金属廃棄物の除染プロセスが標準化された。
- ・様々なタイプの装置に適用可能である。
- ・金属のハイブリッド除染技術が使用され、処理技術が改善された。